

1. キッコーマン健保組合会について(2月15日開催)

2月15日に開催された健保組合会で、平成28年度予算と保健事業などが承認されました。

1) 健康保険料(一般保険料)および介護保険料の料率は前年を維持

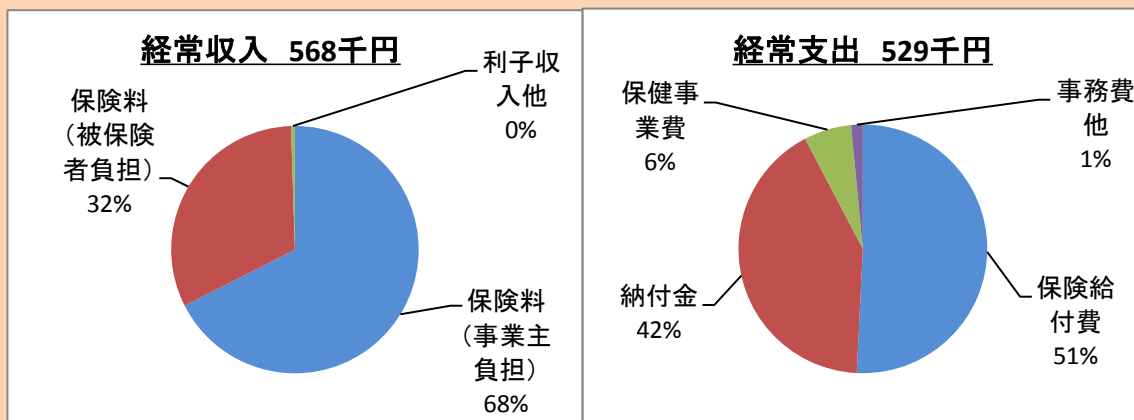
健康保険料率(一般保険料率):8.4%(うち、被保険者負担2.7%)
介護保険料率:1.4%(うち、被保険者負担0.7%)

2) キッコーマンソイフーズ(株)が4月1日より加入することを、組合同規約に記載

3) 平成28年度一般収支予算総額は20億5460万円

経常収支は1億1千3百万円の黒字予算です。(H27年度は約8千万円経常黒字見込)
ただし、平成28年度が大きく黒字の予算となったのは、高齢者医療制度への納付金について平成26年度清算分として約1億円減額されるという特殊要因があるためです。
納付金支出は年々増加していきます。結果、平成29年度からは経常赤字が見込まれ、健保財政は楽観視できる状況ではありません。

<参考>被保険者1人あたりでみた経常収支予算額の割合(H28年度一般勘定)



4) 平成28年度保健事業

「予防、早期発見、早期治療を行なうことによって、病気を重症化させない！」

平成28年度の重点課題

- 被扶養者の健診受診率向上
- データヘルス計画の推進(メンタルヘルスと生活習慣病対策)
- 健康経営に向けた取り組み(事業主に協力)
- 60歳以上の組合員の健康促進
- 分かりやすい広報、個人の状況に合わせた情報提供

主な施策

- 被扶養者向け新健診制度導入(今夏導入予定)
(人間ドック以外の健診の選択肢を増やすことで受診率向上を目指す。
健診項目は、定期健診項目+「乳がん」「子宮頸がん」。)
- 健診データ、医療費データの分析活用。
被保険者および被扶養者個人あてに健康情報を提供。
- 生活習慣病予防のため、体育奨励事業の継続
エクササイズキャンペーン実施 年3回⇒年2回

5)マイナンバー制度対応のため、個人情報関連規定の改定

今後、健保組合が特定個人情報(マイナンバー)を収集・取り扱うにあたり、以下の個人情報関連の規定を定め、厚生局に提出することが義務付けられました。これまで以上に、健保組合での個人情報の取り扱いを厳重に行ないます。また、規定は電子ファイルに掲載し、必要な情報は健保組合のホームページに掲載します。

- 情報セキュリティ基本方針
- 個人情報保護管理規定
- システム等運用管理規定
- 機密文書管理規定
- プライバシーポリシー
- 利用目的の公表

6)傷病手当付加金、延長傷病手当付加金、出産手当付加金に関する組合同約の改定(4/1～)

4月1日から、法定給付「傷病手当金」「出産手当金」の支払基準額の算定ベースとなる標準報酬額の決定方法について法改正されます。これに合わせて、健保組合で定める関連の付加金の規約を改定します。また、厚生労働省の指針に合わせ給付率を以下のとおり改定します。改定後の組合同約は電子ファイルに掲載の予定です。

傷病手当付加金と出産手当付加金の支給率

＜厚生労働省指針＞「法定給付(標準報酬額の3分の2)」+「付加金」の上限を85%とする。

＜現行＞付加金支給率20% ⇒＜改定後＞約18.3%(上限85%－法定給付約66.7%)

2. 平成27年(1～12月診療分)医療費通知を3月下旬送付

ご本人・ご家族が、1月から12月までに医療機関や調剤薬局等の窓口で支払った金額を記載しています。また、本人負担額だけでなく健保組合負担額も記載しております。届きましたら、実績の確認をお願いします。

3. ジェネリック(後発薬)医薬品を推奨

平成27年8月～10月にジェネリックと先発薬の差が500円以上あった126名の方に、差額通知を1月にお送りしました。

当健保のジェネリック選択率は、51.2%。厚生労働省は2017年に70%とする目標を立てています。薬効が同等で経済的なジェネリック医薬品を是非選んで頂くようお願いします。

4. 健康情報冊子「職場のメンタルヘルスコミュニケーション術」を3月下旬に配布

職場でのコミュニケーションのとり方など、メンタルヘルスに役立つヒントを掲載した冊子です。

5. 平成28年度人間ドック補助申請は、平成28年4月～平成29年1月末

平成28年度も最大5万円の間ドック補助を行ないます。平成29年1月末が申請締切ですので計画的に受診して下さい。健保補助申請:30歳以上対象。7割補助(上限5万円)

以上